

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(平成24年度第1回)議事概要

開催日時及び場所	平成24年6月7日(木)15時～17時 沖縄総合事務局6階特別会議室	
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当山尚幸(委員長:弁護士)</li> <li>・大城 常夫(琉球大学名誉教授)</li> <li>・酒井一人(琉球大学農学部教授)</li> <li>・崎山律子(フリージャーナリスト)</li> <li>・宮城千春(公認会計士)</li> </ul>	
審議対象期間	平成24年1月1日 ～ 平成23年3月31日	
項目	抽出案件	備考
総件数	4件	
工 事	1	
・一般競争入札方式	1	
建設コンサルタント業務等	1	
・指名競争入札方式	1	
役務の提供等及び物品の製造等	2	
・一般競争入札方式	2	
議 事	<p>1. 指名停止等の運用状況について</p> <p>2. 平成24年1月～3月における公共工事等の発注状況について</p> <p>3. 抽出事案の審議について</p>	
委員の意見・質問等	回 答	
<p>1. 工事</p> <p>○ 平成23年度伊江農業水利事業伊江地下ダム東工区整備(その2)工事</p> <p>〔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 一般競争入札方式(施工体制確認型総合評価落札方式)</li> <li>・ 工事種別 : 農業土木工事</li> <li>・ 競争参加資格を確認した者の数 : 10</li> <li>・ 入札者数 : 10</li> <li>・ 契約締結日 : 平成24年3月15日</li> <li>・ 契約の相手方 : 前田建設工業(株)</li> <li>・ 契約金額 : 221,025千円</li> <li>・ 落札率 : 89%</li> </ul> <p>〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術提案のテーマ1～3については、各社2点までと決まっているのか。</li> <li>・ 調査基準価格を下回った者の評価を低く設定する入札方式を採用している理由。今後、入札方式の見直しは考えられるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各テーマについては、各社2項目までと決まっている。各テーマについて①の提案、②の提案という形で記載され、その中で特に評価できる事項については、特出している。例えば、パーカッション式ボーリング区間の孔曲がり管理、グラウチング脈の状況把握向上等についての具体的な言葉での提案などである。</li> <li>・ 当該入札方式を採用している理由は、価格だけではなく工事の品質を確保したものにしないため、調査基準価格(工事品質確保のために設定される一定水準の価格)を下回る価格で入札した者については、評価点を低く設定している。 また、入札方式については、過去からも変化してきているので、社会全体の見直しがあれば、このような入札方式の見直しも将来的にはあると思われる。</li> </ul>	

委員の意見・質問等	回 答
<p>2. 建設コンサルタント業務等</p> <p>○ 平成23年度多良間地区地質調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 指名競争入札方式</li> <li>・ 業種区分 : 地質調査</li> <li>・ 競争参加資格を確認した者の数 : 10</li> <li>・ 入札者数 : 10</li> <li>・ 契約締結日 : 平成24年2月17日</li> <li>・ 契約の相手方 : (株)新生コンサルタント</li> <li>・ 契約金額 : 3,885千円</li> <li>・ 落札率 : 74%</li> </ul> <p>・ 業者選定評価で「地域精通」の項目があるが、その評価はどのようにやっているのか。</p> <p>・ 150万円近くの低い価格で落札されているが、求めている内容の業務が実施できるのか。また、このように低価格な入札となっているが、予定価格が高めに設定されていないのか(宮古島では、500万円は高い感じがするが。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業所等の所在地で決めており、会社の登録地域を見て評価している。</li> <li>・ 高度な技術を必要としない比較的単純な業務のため、業務の知識・経験等によっては、当該落札金額でも業務の実施については問題ない。 また、予定価格については、一部離島単価を採用しているものもあるが、市場価格等により適正に積算されており、適正な価格である。</li> </ul>
<p>3. 役務の提供等及び物品の製造等</p> <p>○ 沖縄総合事務局官用車配車システム等の改修業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 一般競争入札方式</li> <li>・ 業種区分 : 役務の提供(情報処理)</li> <li>・ 競争参加資格を確認した者の数 : 3</li> <li>・ 入札者数 : 1</li> <li>・ 契約締結日 : 平成24年2月14日</li> <li>・ 契約の相手方 : (株)オーシーシー</li> <li>・ 契約金額 : 13,343千円</li> <li>・ 落札率 : 90%</li> </ul> <p>・ 本改修業務は、当初開発した業者以外には応札していないが、応札しにくい入札環境になっていないのか。</p> <p>・ 本改修業務は、当初開発した業者以外には難しいものなのか。</p> <p>○ 平成23年度ソフトウェアライセンスの購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 一般競争入札方式</li> <li>・ 業種区分 : 物品の販売(電子計算機類)</li> <li>・ 競争参加資格を確認した者の数 : 8</li> <li>・ 入札者数 : 8</li> <li>・ 契約締結日 : 平成24年1月17日</li> <li>・ 契約の相手方 : (株)富士通エフサス</li> <li>・ 契約金額 : 8,810千円</li> <li>・ 落札率 : 84%</li> </ul> <p>・ 予定価格はどのように設定しているのか。</p> <p>・ 見積書は数社から取るのが通例か。予定価格は徴取した見積書の平均は取らないのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕様書には、特別な参加要件は設定しておらず、結果的に1社応札となったが(仕様書を受けとった業者は他に2社いた)、競争性は確保されていると理解している。</li> <li>・ セキュリティの観点からある程度の資格がないといけないということと、稼働中のシステムを新しいシステムとして構築し、それに移行させていくため、現システムのある程度の知識が必要となるが、特別なものではない。</li> <li>・ 数社から見積書を取り、最も低い方の金額を基にして設定している。</li> <li>・ 数社から見積書を取るのが通例である。1社だとリスクがあるので、数社から見積書を取り、最も低い方を見積りを採用している。最も低い見積りを採用した方が予定価格も低くなり、経費節減にもなる。</li> </ul>

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(平成24年度第2回)議事概要

開催日時及び場所	平成24年9月12日(水)15時～17時 沖縄総合事務局6階特別会議室	
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当山尚幸(委員長:弁護士)</li> <li>・大城 常夫(琉球大学名誉教授)</li> <li>・酒井一人(琉球大学農学部教授)</li> <li>・崎山律子(フリージャーナリスト)</li> <li>・宮城千春(公認会計士)</li> </ul>	
審議対象期間	平成24年4月1日 ～ 平成24年6月30日	
項目	抽出案件	備考
総件数	5件	
建設コンサルタント業務等	2	
・一般競争入札方式	1	
・簡易公募型プロポーザル方式	1	
役務の提供等及び物品の製造等	3	
・一般競争入札方式	1	
・企画競争方式	2	
<p><b>議 事</b></p> <p>1. 指名停止等の運用状況について</p> <p>2. 平成24年4月～6月における公共工事等の発注状況について</p> <p>3. 抽出事案の審議について</p>		
委員の意見・質問等	回 答	
<p>1. 建設コンサルタント業務等</p> <p>○ 前田住宅7号棟ほか1棟耐震診断業務</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 一般競争入札方式</li> <li>・ 業種区分 : 建築関係・建設コンサルタント</li> <li>・ 競争参加資格を確認した者の数 : 6</li> <li>・ 入札者数 : 6</li> <li>・ 契約締結日 : 平成24年4月9日</li> <li>・ 契約の相手方 : (株)松田・仲設計</li> <li>・ 契約金額 : 2,940千円</li> <li>・ 落札率 : 71%</li> </ul> </p> <p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格よりかなりの低い価格での入札となっているが、低入札(価格調査)にはならないのか。</li> <li>・ 入札価格には差があるが、業者の分析技術はほぼ一緒なのか、特殊な装置で計測することはないのか。</li> </ul> </p>	<p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格が1,000万円を超える請負契約については、低入札価格調査制度を設ける場合があるが、本業務は1,000万円を超えていないので、低入札価格調査の該当にはならない。</li> <li>・ (財)日本建築防災協会の「基準書」及び財務省の指示に従って一定の基準で実施するものであり、最新技術などの特殊なものではない。</li> </ul> </p>	

委員の意見・質問等	回 答
<p>○平成24年度伊江農業水利事業伊江地下ダム課題総合検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 簡易公募型プロポーザル方式</li> <li>・ 業種区分 : 設計業務</li> <li>・ 参加資格等 : 2 の条件を満たす参加表明書の提出者数</li> <li>・ 技術提案書 : 2 提出者数</li> <li>・ 契約締結日 : 平成24年6月27日</li> <li>・ 契約の相手 : (株)三祐コンサルタンツ方</li> <li>・ 契約金額 : 25,830千円</li> <li>・ 落札率 : 99%</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の業務は、「簡易公募型」となっているが、「簡易」という言い方は、技術提案書の内容が簡易になるという意味か。</li> <li>・ 不採用の技術提案書評価結果表をみると、「創意工夫」がDで評価点「0」、特定テーマがAで評価点「10」となっている。創意工夫と特定テーマは、評価ポイントの内容が関連していると思われるが、このように評価がAとDになることについて疑問である。</li> </ul> <p>(意見) 技術提案書を評価するメンバーは発注者側内部の所長等ということであるが、応募業者の利益相反者がメンバーに含まれている場合は、従来から意見として述べているが、利益相反者をメンバーから外し、補充などをしてより公平性を高めるような方法を考えてもいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術提案書の内容が簡易になるという意味ではなく、「公募型」より手続き期間が短いため簡易であるという意味である。</li> <li>・ 技術提案書の評価は、具体的な記載があるものについてしか行うことができない。したがって、不採用業者の技術提案書の「創意工夫」については、VEやコスト削減、環境との調和への配慮など、具体的な記載が無いため、評価点が「0」となっている。</li> </ul> <p>意見を受け、評価者が利益相反者となる場合には、当該案件に係る委員会等に参加することの無いよう事業所長等に通知したところである。</p>
<p>2. 役務の提供等及び物品の製造等</p> <p>○平成24年度駐留軍用地跡地利用に関する市町村支援業務(アドバイザー派遣等業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 一般競争入札方式</li> <li>・ 業種区分 : 役務の提供</li> <li>・ 競争参加資格 : 2 格を確認した者の数</li> <li>・ 入札者数 : 2</li> <li>・ 契約締結日 : 平成24年4月9日</li> <li>・ 契約の相手 : 玉野コンサルタント(株)方</li> <li>・ 契約金額 : 26,775千円</li> <li>・ 落札率 : 82%</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 派遣者スキームの図に、受託者とアドバイザー、コンサルタント及びプロジェクトマネージャーとの調整等があるが、アドバイザー等については既に決まっているのか。この点も含めて技術等審査で審査するのか。</li> <li>・ 落札業者の総合評価点が106.35となっているが、これはどのように算出しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各業者がアドバイザー等の派遣を含めて、このような形で業務を実施しますという提案がある。その中で、(アドバイザー等の)このような専門家を考えていますというのもあり、一つの技術審査のポイントにもなる。</li> <li>・ 技術点の配分が100で、価格点の配分は62となっている。その比率で算出した結果、落札業者の技術点が95.4、価格点が10.95で総合評価点が106.35となっている。</li> </ul>

委員の意見・質問等	回 答
<p>○ 平成24年度特許等取得活用支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 企画競争方式</li> <li>・ 業種区分 : 役務の提供</li> <li>・ 企画提案書の提出者数 : 1</li> <li>・ 企画競争参加資格要件を満たす企画提案書の提出者数 : 1</li> <li>・ 契約締結日 : 平成24年4月5日</li> <li>・ 契約の相手方 : 一般財団法人 沖縄県発明協会</li> <li>・ 契約金額 : 32,982千円</li> <li>・ 落札率 : —</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議資料をみても公正に公募しているのかがよくわからない。</li> <li>・ 1者しか応募していないが、本事業は特殊なものなのか、ほかに要因はあるのか。</li> <li>・ 予算上限額と契約額の違いが5,000円となっているが、これは何か意味があるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕様書などをホームページに掲載するとともに1階掲示板に掲示するなどして、広く公募を行っており、公平性は確保されていると理解している。</li> <li>・ 本事業は特殊なものではなく、中小企業支援機関等では対応が可能と思うが、結果的に1者の応募となっている。</li> <li>・ 業者の方で事業実施のための人件費等を細かく積算した結果、予算上限額と契約額と差額が生じているが、特に意味はない。</li> </ul>
<p>○ 平成24年度外国人誘客推進事業(ビジット・ジャパン) 韓国市場誘客事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 企画競争方式</li> <li>・ 業種区分 : 役務の提供</li> <li>・ 企画提案書の提出者数 : 1</li> <li>・ 企画競争参加資格要件を満たす企画提案書の提出者数 : 1</li> <li>・ 契約締結日 : 平成24年4月27日</li> <li>・ 契約の相手方 : (株)近畿日本ツーリスト沖縄</li> <li>・ 契約金額 : 3,817千円</li> <li>・ 落札率 : —</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1者応募については、従来から問題提起されているが、その原因はわからないか。また、県内の旅行会社の応募がないが、その理由は。</li> <li>・ 評価点の7割以上を得点しないと提案書は採用しないということであるが、この項目については、高くしないと困るから高くしようということはないのか。例えば、他の項目については、小数点以下の点数は出てないが、「独創性」については、小数点以下の点数が出ている。それは何故か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公募については、きちっと手続きを踏んで公平に行っているが、1者応募となっている。原因はわからない。今回の事業は、韓国への出展事業や市場調査などであり、県内の旅行会社については、現地に営業所がない、出展事業については得意分野ではないなどの理由により応募がなかったものと考えられる。</li> <li>・ 提案内容の「独創性」、「具体性」については、いくつかの項目があって、その平均という形で点数を算出している。その結果、小数点以下の点数が生じたものである。</li> </ul>

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(平成24年度第3回)議事概要

開催日時及び場所	平成24年12月18日(火)15時～17時 沖縄総合事務局6階特別会議室	
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当山尚幸(委員長:弁護士)</li> <li>・大城 常夫(琉球大学名誉教授)</li> <li>・酒井一人(琉球大学農学部教授)</li> <li>・崎山律子(フリージャーナリスト)</li> <li>・宮城千春(公認会計士)</li> </ul>	
審議対象期間	平成24年7月1日 ～ 平成24年9月30日	
項目	抽出案件	備考
総件数	4件	
建設コンサルタント業務等	1	
・一般競争入札方式	1	
役務の提供等及び物品の製造	3	
・一般競争入札方式	1	
・企画競争方式	2	
<p>議 事</p> <p>1. 指名停止等の運用状況について</p> <p>2. 平成24年7月～9月における公共工事等の発注状況について</p> <p>3. 抽出事案の審議について</p>		
委員の意見・質問等	回 答	
<p>1. 建設コンサルタント業務等</p> <p>○ 平成24年度 沖縄における不発弾探査の効率化に関する検討業務</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札方式 : 一般競争入札方式</li> <li>・業種区分 : 土木関係建設コンサルタント</li> <li>・競争参加 : 3 資格を確認した者の数</li> <li>・入札者数 : 2</li> <li>・契約締結 : 平成24年9月5日</li> <li>・契約の相手方 : 大和探査技術(株)</li> <li>・契約金額 : 9,450千円</li> <li>・落札率 : 87%</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術等審査委員会で1社が不合格となっているが、その理由は、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競争参加資格及び技術提案書の必須項目の要件を満たしていなかったため、である。</li> </ul>	

委員の意見・質問等	回 答
<p>2. 役務の提供等及び物品の製造等</p> <p>○ 沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システムに係る県民意識等実態把握調査</p> <p>〔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 一般競争入札方式</li> <li>・ 業種区分 : 役務の提供</li> <li>・ 競争参加資格を確 認した者 の数</li> <li>・ 入札者数 : 3</li> <li>・ 契約締結 : 平成24年8月23日</li> <li>・ 契約の相 : (株)海邦総研 手方</li> <li>・ 契約金額 : 18,879千円</li> <li>・ 落札率 : 94%</li> </ul> <p>〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術提案書の審査委員については、代理出席もいるが代理出席でも良いのか。</li> <li>・ 技術点の中で、「沖縄の地域特性等を総合的に評価して」という( )書きの評価基準があるが、これが高い評価基準になっていると考えるが、その理由は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員が出席できない場合は、担当課としての立場から業務を熟知している代理の者(課長補佐等)が出席可能と要綱上規定しており、問題はない。</li> <li>・ 今回の調査業務は、今ある計画ルートなど地元情勢を熟知するとともにアンケート調査やタウンミーティングを短期間を実施する必要があり、提案された内容にこのような沖縄の地域特性が盛り込まれた提案になっているかなどを評価するため「沖縄の地域特性等を総合的に評価して」ということを評価基準に入れた。</li> </ul>
<p>○ 八重山地域における訪日外国人旅行者の受入環境整備に係る外客受入地方拠点整備事業</p> <p>〔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 企画競争方式</li> <li>・ 業種区分 : 役務の提供</li> <li>・ 企画提案書の提出者数 : 2</li> <li>・ 企画競争参加資格要件を満たす企画 企画提案書の提出者数 : 2</li> <li>・ 契約締結 : 平成24年9月18日</li> <li>・ 契約の相 : 中央開発(株)沖縄支店 手方</li> <li>・ 契約金額 : 14,805千円</li> <li>・ 落札率 : 一(事業費上限額を提示)</li> </ul> <p>〕</p> <p>入札・契約関連質疑は特になし。 (質疑については業務内容に関するもの)</p>	

委員の意見・質問等	回 答
<p>○ 沖縄管内における公共交通空白地域等実態調査及び地域公共交通利用促進方策現状調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 企画競争方式</li> <li>・ 業種区分 : 役務の提供</li> <li>・ 企画提案書の提出者数 : 6</li> <li>・ 企画競争参加資格要件を満たす企画提案書の提出者数 : 6</li> <li>・ 契約締結日 : 平成24年9月28日</li> <li>・ 契約の相手方 : 昭和(株)沖縄支社</li> <li>・ 契約金額 : 12,495千円</li> <li>・ 落札率 : 一(事業費上限額を提示)</li> </ul> <p>・ 企画競争に参加する者に必要な資格として、「平成23・24・25年度競争参加資格(役務の提供等)」において、九州・沖縄地域の競争参加資格を有する者としているが、これは、特別に限定しているものなのか。</p> <p>・ 企画提案書を審査する際は、会社名を伏せて審査しているのか。会社名を出したまま審査すると、審査する者の先入観などが生じて適正に審査できない場合がある。業者選定委員会での公正、公平な審査であるといふことあれば会社名は伏せた方がよい。 (全体のことなので、総務部で指導した方がよい)</p>	<p>・ 「平成23・24・25年度競争参加資格(役務の提供等)」は、全省庁統一参加資格制度で、販売高、自己資本率の合計、営業年数等の実績を審査し、ランク付けされるものであり、今回は、その中で「九州・沖縄地域の競争参加資格を有する者」を競争に参加する者の必要な資格としており、競争参加資格者の地域、要件など特別に限定しているものではない。</p> <p>・ 改善に向けて検討させていただきたい。</p>



沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(平成24年度第4回)議事概要

開催日時及び場所	平成25年3月5日(火)15時～17時 沖縄総合事務局 1階 共用会議室B	
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当山尚幸(委員長:弁護士)</li> <li>・大城 常夫(琉球大学名誉教授)</li> <li>・酒井一人(琉球大学農学部教授)</li> <li>・崎山律子(フリージャーナリスト)</li> <li>・宮城千春(公認会計士)</li> </ul>	
審議対象期間	平成24年10月1日 ～ 平成24年12月31日	
項目	抽出案件	備考
総件数	4件	
工 事	1	
・一般競争入札方式	1	
建設コンサルタント業務等	1	
・一般競争入札方式	1	
役務の提供等及び物品の製造等	2	
・一般競争入札方式	2	
議 事	<p>1. 指名停止等の運用状況について</p> <p>2. 平成24年10月～12月における公共工事等の発注状況について</p> <p>3. 抽出事案の審議について</p>	
委員の意見・質問等	回	答
<p>1. 工 事</p> <p>○平成24年度 宮古伊良部農業水利事業伊良部導水路大橋工区(一般部宮古側その2)工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札方式 : 一般競争入札方式</li> <li>・業種区分 : 農林土木工事、農林建築工事</li> <li>・競争参加 : 10 資格を確認した者の数</li> <li>・入札者数 : 10</li> <li>・契約締結 : 平成24年12月12日</li> <li>・契約の相手方 : 戸田建設(株)</li> <li>・契約金額 : 531,300千円</li> <li>・落札率 : 87%</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術提案書のテーマを3点挙げているが、このテーマは、どなたがどのような基準で決めているのか。</li> <li>・ テーマの一つに安全性を挙げているが、この安全性は、工事完成後の安全性も含まれるのか。</li> <li>・ 一つの管工事を数件の工事に分けて発注するということだが、異なった業者が一つの工事を施工することになり何らかの不都合が生じないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 局及び事業所等の職員で構成する「技術提案評価委員会」での意見などを踏まえて、局としてどのような内容のテーマが適切なのかを審議して、決定している。</li> <li>・ 今回の工事を含めてのことだが、安全の確保というのは工事実施時点でのことであり、工事実施での安全に対する具体的な対策に着目して評価している。</li> <li>・ 具体的な工法については現場を担当している事業所で詳細に検討しており、異なった業者でも同じ工法で施工し、最終的には管が一体のものとしてつながることとなり、不都合は生じない。</li> </ul>	

委員の意見・質問等	回 答
<p>2. 建設コンサルタント業務等</p> <p>○ 財務省所管普通財産にかかる測量業務等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 一般競争入札方式</li> <li>・ 業種区分 : 測量・建設コンサルタント</li> <li>・ 競争参加資格を 確認した者 の数 : 5</li> <li>・ 入札者数 : 5</li> <li>・ 契約締結 : 平成24年12月14日</li> <li>・ 契約の相手方 : (株)丸島建設コンサルタント</li> <li>・ 契約金額 : 1,026千円</li> <li>・ 落札率 : 100%</li> </ul> <p>・ 落札率が100%となっているが、こういうことはよくあることなのか。</p> <p>・ 測量の場合、基本コストには余り差はないと考えられるが、落札業者の金額と5番目(最下位)の業者の金額がかなり差があり、業務執行は大丈夫か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格については、複数業者から参考見積りを徴取して、最も安価な方を予定価格としている。その際の業者の参考見積りについては、通常、値引きされない標準価格的なもので出されるが、今回の1社の参考見積りについては、入札時の金額と同様の値引きされたものが出され、それが予定価格となり結果的に100%落札になったものと考えられる。</li> <li>・ 入札参加業者5者のうち、落札業者を含む3者から参考見積りを徴取しており、これらの業者については、平成22年度、23年度に業務発注した実績もあり、しっかりと対応していることから問題はないと考える。</li> </ul>
<p>3. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 人事給与総合システム及び非常勤職員給与システムの改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 一般競争入札方式</li> <li>・ 業種区分 : 役務の提供</li> <li>・ 競争参加資格を 確認した者 の数 : 1</li> <li>・ 入札者数 : 1</li> <li>・ 契約締結 : 平成24年10月26日</li> <li>・ 契約の相手方 : (株)オーシーシー</li> <li>・ 契約金額 : 2,625千円</li> <li>・ 落札率 : 85%</li> </ul> <p>・ 予定価格の設定は1社のみで見積りで設定しているのか。</p> <p>・ 見積りについては、数社から徴取したとしているが、なぜ1社応札となっているのか。</p> <p>・ 今回のシステム改修は法律に基づく改修なので、他の機関についても同様な改修が行われていると思われる。設定した予定価格が妥当かどうかを検討する意味で他の機関の状況等も参考にする必要はないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数社から参考見積りを徴取し、そのうち最も安価な方を予定価格としている。</li> <li>・ 応募期間を前倒しにするなどして、応札しやすいように努力はしているが、既存のシステムの改修ということで、新規の業者が入りづらいという事情もあるものと考えられる。</li> <li>・ 他の機関については、システムなどの違いがあっても単純に比較できるかどうかかわからないが、情報収集が可能かどうかを含めて検討したい。</li> </ul>

委員の意見・質問等	回	答
<p>○ 沖縄地域における中小企業の経営力強化に向けた経営支援活動のあり方及び地域金融機関との連携強化に関する調査研究</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 : 一般競争入札方式方式</li> <li>・ 業種区分 : 役務の提供</li> <li>・ 競争参加 : 3 資格を確認した者の数</li> <li>・ 入札者数 : 3</li> <li>・ 契約締結 : 平成24年11月7日 日</li> <li>・ 契約の相手方 : (一財)南西地域産業活性化センター</li> <li>・ 契約金額 : 4,640千円</li> <li>・ 落札率 : 99%</li> </ul> </p> <p>・ 技術点の一番高い会社が辞退しているが、その理由は、</p>		<p>・ 辞退した会社については、技術提案書もボリュームもあり、他社より技術点が高くなっていたが、東京の会社のため、旅費、人件費などの関係で価格が高く、1回目開札の際の1番札とはかなりの開きがあったため、2回目の入札のときに辞退したものと思われる。</p>